



巻頭言

大学の社会貢献と中之島センターの建設

城野 政弘*

Social Contribution of Osaka University and Nakanoshima-center

Key Words : 大学の使命, 社会貢献, 第3キャンパス, 中之島センター
Mission of University, Social Contribution, Third Campus, Nakanoshima-center

国立大学の独立法人への移行もほぼ決定的なようで、去る6月には文部科学省より、国立大学の構造改革の方針として、国立大学の再編・統合を大胆に進める、国立大学に民間的発想の経営手法を導入する、大学に第三者評価による競争原理を導入する、との3つの大きな方針が示され、各大学ではこれを受けて対応が真剣に議論されている。

大阪大学では設置形態検討委員会において、独立法人化をめぐる動きを踏まえつつ、検討を重ねてきており、3月に独立法人化問題についての中間報告(詳細は大阪大学のホームページ参照)を出すとともに、引続き今後の大阪大学の在り方、中期目標、目的を議論している。中間報告の理念では、懐徳堂、適塾以来長年にわたって育まれてきた市民性と積極的な改革の伝統をひきつぎ、21世紀の社会に、有能な人材と世界水準の研究成果を提供することが、大阪大学の使命であり目標であると謳われており、そしてこのような目標を達成するためには、教育・研究のみならず社会貢献の重要性が指摘されている。

大学の社会貢献は、研究成果を広く社会に公表、還元するとともに社会の側からたえず刺激を受け、その必要に応えることによって、人類の進歩と地域の発展に寄与することであろう。そのためにはこうした成果を社会に発信し情報を共有すると同時に、大学と社会との交流を介して互いの文化を吸収しあい、またそれを知的生産にフィードバックさせていく場が、是非とも必要であると考えられる。大阪大学では、創立70周年の記念事業の一つとして、本学

草創の地、大阪府中之島地区に大阪大学中之島センター(仮称)の建設を計画している。中之島センターでは、1)教育・研究機能、2)社会への情報発信機能、3)社会との交流機能という3つの基本的機能を果たす計画であり、1番目の教育・研究機能としては、実践的なビジネススクールやロースクール、あるいは先端的科学技術講義などの高度職業人講座の開設や、社会人を対象とした昼夜開講制の大学院教育の実施が予定されている。2番目の社会への情報発信機能としては、教育・研究情報、入試情報、同窓会等の情報データベースを初めとする本学の情報を国内外に発信する情報センターの設置とともに、各種分野について、コンサルタント業務の実施と、コーディネート事業を通じて産学連携の積極的推進と大学における知的成果の民間への技術移転などが計画されている。3番目の社会との交流機能としては、文化・学術講演会やシンポジウム、社会人向け教養・文化・科学講座の開催の他、同窓生を対象としたヘルスケア・クラブの設立などが考えられている。

大阪大学では平成5年の医学部の移転を最後に、全部局が吹田、豊中の両キャンパスに結集しており、発祥の地である大阪市内に拠点を持たなくなっている。本計画は、関西経済界の中心である大阪市内に阪大の第3キャンパスともいべき拠点を取り戻すことにより、「地域に生き世界に伸びる」という大阪大学のモットーに則り、社会連携、社会貢献をより積極的に進めるものであり、法人化を見据えた本学の将来構想にとってきわめて重要な計画と考えている。大阪大学後援会により進められている建設のための募金事業も、同窓生、財界の協力と理解を得て順調に進んでおり、平成15年度の建設が予定されている。活動内容についても、各部局で具体的な計画が検討されている他、大阪TLO阪大事業部門の業務の一部をセンターに移すことも考えられている。中之島センターの建設について、皆様のご理解とご協力をお願いするとともに、センターでの事業について積極的なご提言をいただければ幸いです。

* Masahiro JONO

1940年5月6日生
昭和43年(1968年)大阪大学大学院工学
研究科博士課程修了
現在、大阪大学大学院工学研究科、
機械システム工学専攻、教授、副学長、
工学博士、材料強度学
TEL 06-6879-7240
FAX 06-6879-7243
E-Mail jono@mech.eng.osaka-u.
ac.jp

